



令和2年度

水稻の生育概況 vol.1



(令和2年6月1日現在)
埼玉県農業技術研究センター

要約

◎気象概況：4月は平年に比べ平均気温がやや低く、降水量はかなり多く、日照時間は長かった。

5月は平年に比べ平均気温は高く、降水量は平年並み、日照時間も平年並みであった。

◎生育状況：草丈、莖数とも平年を上回っている。葉位の展開も平年より早く進んでおり、生育は極めて良好である。

◎今後取るべき技術対策

- ・育 苗：トンネル等の温度管理に注意。苗の老化が見られる場合は追肥を実施
- ・水 管 理：浅水管理で分けつの発生を促し、有効莖が確保できたら早めに中干しを実施
- ・病虫害防除：ヒメトビウンカ（イネ縞葉枯病）に留意し、その他の病虫害も考慮し薬剤防除に努める。

1 気象の概況

4月の平均気温は、第1半旬を除いて平年より低く、月平均では平年より1.0℃低かった。降水量は、第3、4半旬にまとまった降雨があり、月合計では平年の188%であった。日照時間は、第4半旬で平年より少なかったが、他は多照であり、月合計では平年の126%であった。

5月の気温は第1、3、6半旬で平年より高く、特に第1半旬と第3半旬ではそれぞれ平年より4.0℃、4.2℃高かった。月平均では平年より1.5℃高かった。降水量は第4半旬にまとまった降雨があり、月合計では平年の107%であった。日照時間は第4、5半旬で平年より少なく、他は平年並みから多照であった。月合計では平年の103%であった。

2 生育の概況

(1) センター内生育相

ア 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

緑化直後の低温によりやや生育が停滞したが、その後は多照で経過したため、概ね平年並みの苗が得られた。

移植後の活着は極めて良好であり、植え傷みも見られなかった。移植後の高温多照により生育が促進され、移植後30日時点で葉位の進展が平年より

1 枚ほど早く、草丈、莖数ともに平年を上回っている。

イ 早植栽培（5月20日植 彩のかがやき）

育苗期間は平年に比べて高温で経過したものの、多照であったため苗の徒長は見られず、充実度の高い良苗が得られた。

移植時は強風等による植え傷みもなく、活着は良好で、生育は順調である。

(2) 県内全般

早期・早植栽培とも4月下旬に低温気味の天候に遭遇した苗の生育停滞が懸念されたが、田植作業は平年並みに進捗し、5月は天候が回復し苗の活着は良好で初期生育も順調である。

3 今後の生育予測

(1) 気象予測

気象庁が5月28日に発表した関東甲信地方の1か月予報では、6月の天候は期間の前半は、天気は数日の周期で変わり、後半は平年と同様に曇りや雨の日が多い見込み。向こう1か月の平均気温は高い確率が70%である。

また、5月25日発表の関東甲信地方の3か月予報では、7月の天候は期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多く、期間の後半は平年と同様に晴れの日が多い見込み。気温は平年並または高い確率ともに40%である。

8月の天候は平年に比べ晴れの日が多い見込み。気温は高い確率が50%である。

(2) 生育予測

ア 早期、早植栽培

向こう1か月の平均気温は高い確率が70%、日照時間は少ないが40%と予想され、生育が促進されることが見込まれる。

イ 普通期栽培

小麦の収穫作業は播種時期が分散した影響で作業期間の幅もやや広がり平年よりも若干遅くなるほ場も予測される上、育苗期の気温は高い確率が70%と予想されているので、一部の管理不足苗の高温による苗の痛みが懸念される。

また、向こう1か月の日照時間は少ない確率が40%、降水量は平年並みが40%と見込まれ、田植え後の軟弱気味の生育が懸念されるが、生育は概ね順調に推移すると見込まれる。

4 今後取るべき技術対策

(1) 早期、早植栽培

ア 施肥

葉色を判断しながら生育に応じて適宜追肥を行う。

イ 病害虫防除

5月27日発表の令和2年度病害虫発生予報第2号（6月予報）では、5月中旬までの移植水稻ではいもち病（葉いもち）の発生予想は「やや少」、ヒメトビウンカの発生量の発生予測は「やや少」である。

ヒメトビウンカが媒介するイネ縞葉枯病感受性品種「コシヒカリ」などの品種を栽培している場合、育苗箱でのヒメトビウンカの防除を実施しなかった場合は、本田での防除を心掛ける。

ウ 水管理

有効茎が確保できたら小ひびが入る程度に中干しを実施する。

エ 雑草防除

雑草が多発した場合は、草種等に応じた除草剤（中期、後期剤）を選択し、適期散布を行う。

（2）普通期栽培

ア 育苗

苗代の温度管理に注意する。原則として追肥は行わないが、移植の遅れ等により肥切れが見られた場合は落水して、箱当たり0.5g（N成分）程度の硫安等を500mlの水に溶かしてジョウロ等で施用する。葉についた肥料を清水で洗い流す。

イ 病害虫防除

5月下旬以降の移植水稻では、いもち病（育苗期）の発生予測は「並」、ヒメトビウンカの発生量の発生予測は「やや少」である。

これから移植を行う水稻において、いもち病の常発地では登録のある苗箱施用剤を心掛ける。

キヌヒカリ等のイネ縞葉枯病感受性品種ではヒメトビウンカに登録のある苗箱施用剤を心掛ける。

ウ 雑草防除

気温が高い時期になり雑草の生育が早まるため、田植え後雑草の葉齢を見ながら適期に適剤の散布を行う。

「イネ縞葉枯病防除マニュアル」について

イネの重要病害であるイネ縞葉枯病の防除技術を開発するため、農技研では農研機構や他県と共同研究を行い、県内向けに「イネ縞葉枯病の防除マニュアル（埼玉県版）」を作成しました。また、農研機構では、共同研究全体の研究成果をまとめた「イネ縞葉枯病の総合防除マニュアル」をホームページで公開しています。

◎イネ縞葉枯病の防除マニュアル（埼玉県版 PDF 版）

<http://www.pref.saitama.lg.jp/b0909/documents/ine-shimahagare-manyuaru.pdf>

◎イネ縞葉枯病の総合防除マニュアル（農研機構 Web 版）

https://ml-wiki.sys.affrc.go.jp/rsv_web/manual/start

解析・考察に用いた具体的数字

1 気象表（熊谷気象台日別測定値から集計）

4月											
半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	12.2	11.0	17.8	16.7	7.6	5.9	19.0	15.4	39.4	31.4	
2	11.8	12.2	18.1	18.0	6.2	7.0	4.0	17.1	52.5	31.2	
3	11.0	13.2	16.3	19.0	6.3	8.1	67.5	16.9	35.7	30.3	
4	12.4	14.1	16.8	20.0	8.7	9.0	81.0	16.0	26.2	30.3	
5	12.7	15.0	19.2	21.0	6.8	9.8	3.0	14.8	38.9	31.4	
6	15.3	15.9	22.1	22.0	8.8	10.6	0.5	12.6	46.6	32.3	
平均	12.6	13.6	18.4	19.5	7.4	8.4	合計 175.0	92.9	239.3	190.2	

5月											
半旬	平均気温(°C)		最高気温(°C)		最低気温(°C)		降水量(mm)		日照時間(hr)		
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	
1	20.8	16.8	28.1	22.7	14.7	11.6	9.0	11.9	38.0	31.2	
2	16.5	17.4	21.8	23.2	11.6	12.5	19.0	14.6	29.3	29.2	
3	22.0	17.8	28.8	23.4	15.8	13.0	0.0	18.3	47.2	28.1	
4	18.2	18.3	22.6	23.9	14.8	13.5	72.0	20.9	12.1	29.0	
5	18.6	19.0	23.4	24.7	14.6	14.2	2.0	20.8	9.8	30.4	
6	21.7	19.9	27.2	25.4	16.8	15.1	17.5	21.9	42.8	36.6	
平均	19.7	18.2	25.4	23.9	14.8	13.4	合計 119.5	111.8	186.9	182.0	

注) 半旬数値は熊谷地方気象台日別測定値から集計。ただし、月平均・合計は気象台値。

2 早期栽培（5月1日植 コシヒカリ）

(1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
12.1	12.7	95	2.1	2.1	0.0	1.15	1.30	88	0.95	1.02	-0.07

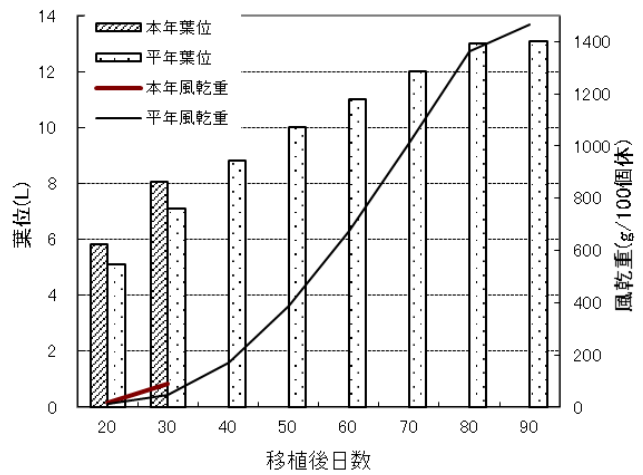
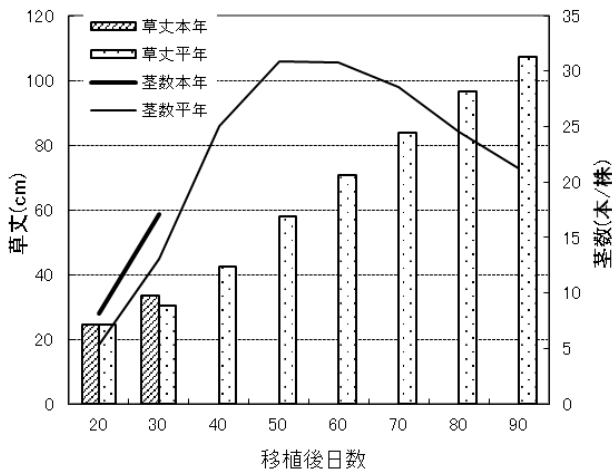
注) 平年値は平成11年～令和元年の平均(H22を除く)。 平年比は%

(2) 本田生育

移植後 日数	草丈(cm)			茎数(本/株)			葉位(L)			風乾重(g/100本)		
	本年	平年	平年比	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比
20	24.5	24.6	100	8.2	5.3	155	5.8	5.1	0.7	16.4	11.8	139
30	33.4	30.2	111	17.1	13.1	131	8.1	7.1	1.0	90.5	46.6	194

注) 平年値は平成11年～令和元年の平均(H22を除く)。 平年比は%

(3) 生育経過

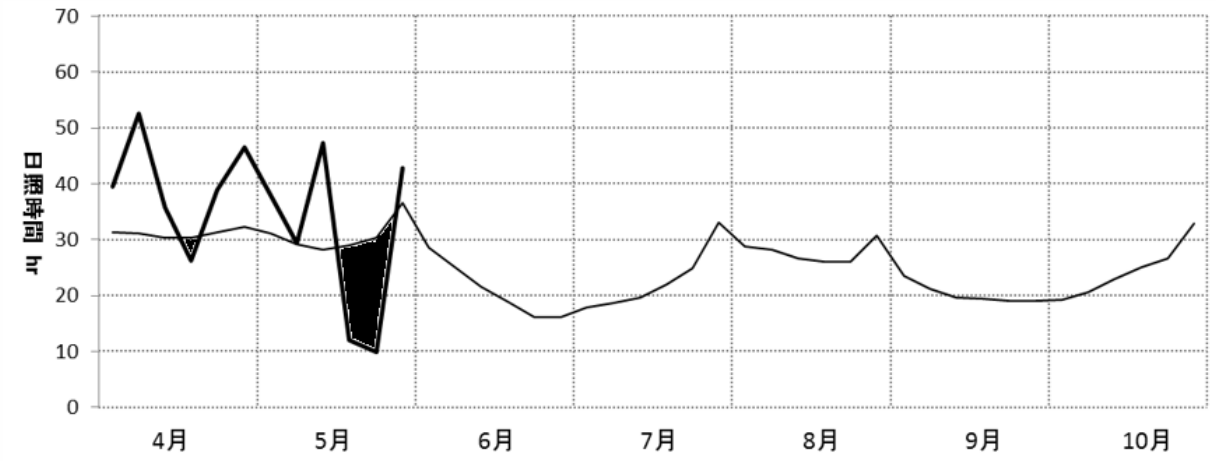
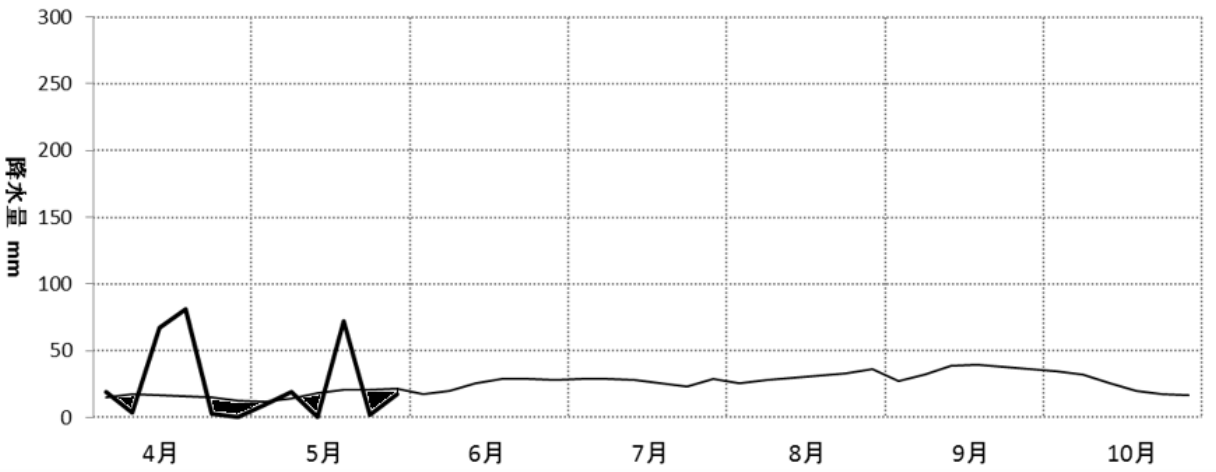
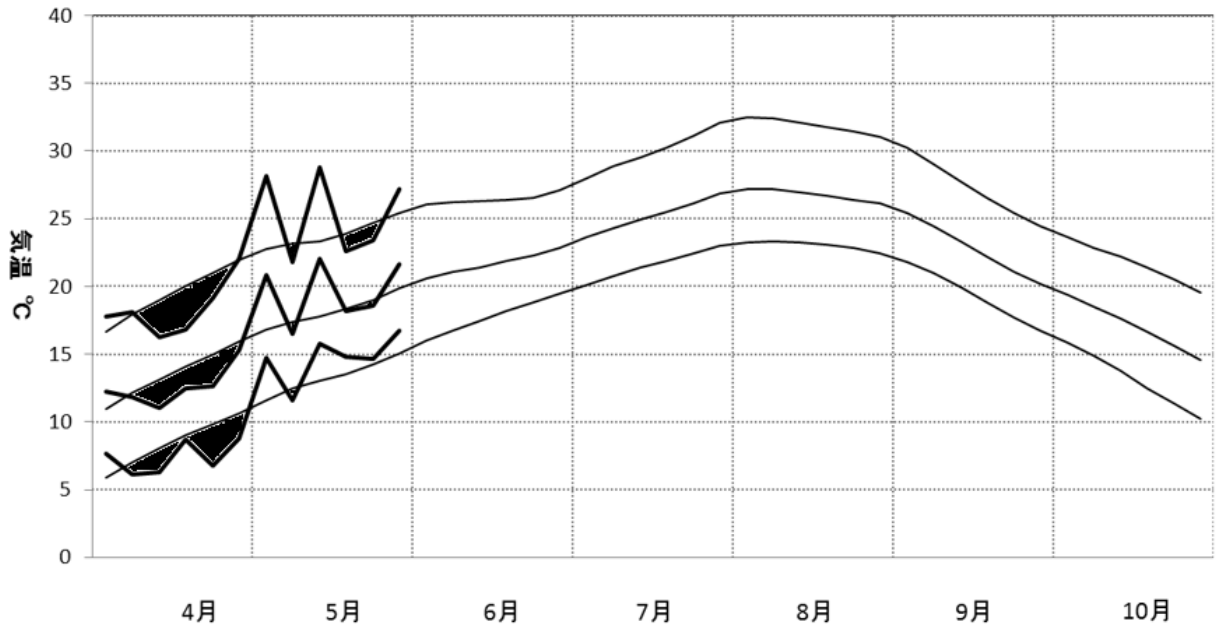


3 早植栽培 (5月20日植 彩のかがやき)

(1) 苗質

草丈(cm)			葉位(L)			風乾重(g/100本)			充実度(mg/cm)		
本年	平年	平年比	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比	本年	平年	平年差
10.5	13.0	80	2.2	2.1	0.1	1.23	1.40	88	1.36	1.07	0.29

注) 平年値は平成12年～令和元年の平均。 平年比は%



令和2年夏作期間気象図
 (熊谷気象台日別測定値から作成)